

煙No. 31号(2000年9月)		与野党の攻防と政局の 行方	壽賀一仁	13~16
巻頭言 地球上の多様な個性を：文化人類学からの視点	福井勝義	1		
ジンバブウェ2000年総選挙 破滅か再生か	平野克己	2~6	津田みわ	17~21
シエラレオネにおける国連部隊襲撃拘束事件	落合雄彦	7~10	高根務	22~27
ルワンダの復興と新農村政策 土地法改革と集村化をめぐって	武内進一	11~14	根本利通	28~31
ウガンダにおける難民政策と UNHCR 地元定住政策から 「自立への戦略」へ	清水康子	15~18	石井洋子	32~35
ゴリラの大量虐殺とその背景 コンゴ民主共和国の内戦が脅かす野生動物と人間との共存	山極寿一	19~23	小村成樹	36~39
南アフリカの路商と移民の参入 ジョハネスバーグの事例	吉田栄一	24~28	楠瀬佳子	40~43
ブルキナファソの農村開発における現地NGOと地方行政 ナムグループ全国連合(FNGN)を事例として	竹下麦穂	29~32	峯陽一	44~47
アフリカの農村小口金融における課題と取り組み ジンバブエの貯蓄クラブを事例として	栗野晴子	33~36		48~50
ケニア小農部門紅茶産業における生産者組合運動の興隆 について	大倉三和	37~40		51~52
ケニア・ルオの居住形態の変遷	椎野若菜	41~45		52
西アフリカの農業の起源と考古学の現状	竹沢尚一郎	46~49		
資料紹介		50~52		
編集後記		53		
煙No. 32号(2001年3月)		ケニア憲法改正問題の現在 「サファリ・パーク合意」とガイ調停	津田みわ	17~21
巻頭言 アフリカを見る眼	川端正久	2		
第二共和制の不安な船出 コートディヴォワールにおける民政移管と排外主義	佐藤章	3~8		
ナイジェリア 任期後半をむかえるオバサンジョ政権 ジンバブウェ総選挙その後	望月克哉	9~12		
		2000年ガーナ総選挙 長期政権の平和的交代 民主主義への道程 2000年 タンザニア総選挙報告 ケニア山南嶺平野における灌漑開発の導入 ムエア灌漑事業区の成立史 タンザニア、ウルグル山地深奥部の定期市 ジンバブエ・コミュニティ劇団初日本公演について ステレンボッシュに暮らして 保守派の牙城にも変革の風	高根務	22~27
		資料紹介 アジ研アフリカ通信 編集後記	根本利通	28~31
		煙No. 33号(2001年9月)	石井洋子	32~35
		巻頭言 日本とアフリカを結ぶもの	小村成樹	36~39
		エンセーテを基盤とする持続的生業システム エチオピア起源のバショウ科根菜作物	楠瀬佳子	40~43
		セク・トゥレが音楽で目指したもの ギニア・ナショナルリズム昂揚のメディアとして	峯陽一	44~47
		「地名」が繋ぐもの		48~50
		モーリシャス アフリカから しからぬ小国の素顔		51~52
		独立ナミビアの教育言語政策 ナイジェリアにおけるキャッサバ加工の現状		52
		進化するビーズ装飾 ケニア・サンプル社会における 「モラン」の変容		
		牛略奪と経済自由化とのほざまで ウガンダ東部、山地農耕民セイベの生業選択 紛争という日常からの社会復		
			和崎春日	2
			重田真義	3~6
			鈴木裕之	7~10
			河合香吏	11~15
			寺谷亮司	16~21
			米田信子	22~26
			稲泉博己	27~31
			中村香子	32~36
			白石壮一郎	37~40

経済自由化で新たな試練に直 面するコーヒー生産者たち	児玉由佳	40～43	をめぐって	武内進一	18～21
資料紹介		44～46	裏切られた期待 政権交代	津田みわ	22～26
アジ研アフリカ通信		47～48	1年目のケニア		
<hr/>			民主化する神々 1990年代 以降のベナンにおける政治 と伝統信仰	田中正隆	27～34
煙No. 37号(2003年9月)			ケニア・ルオ社会における寡 婦の生活選択 村落で生 きる・町で生きる	椎野若菜	35～41
巻頭言 「参加型貧困アセス メント(PPA)」と貧困スパ イラル	石川 滋	2	資料紹介		42～47
ネリカ稲の研究開発と問題点	坂上潤一	3～9	アジ研アフリカ通信		48～52
低迷するアフリカ貿易と開発 要素賦存と輸出代替政 策	須藤裕之	10～14	編集後記		52
なぜ彼女らは自らを傷つける 行為を行なうのか エチ オピア西南部牧畜民ホール における国家との交渉と女 子「割礼」	宮脇幸生	15～20	<hr/>		
アフリカ社会に深く埋めこまれ た慣習FGM：女性性器切除 健康とジェンダー・セ クシュアリティの視点から	若杉なおみ	21～27	煙No. 39号(2004年9月)		
汎濫原のロジと疎開林帯のブ ンダ 西部ザンビアにお ける民族集団間の相互交流	岡本雅博	28～32	巻頭言 葦の髄から ザン ビア東部州ベタウケの15年	小倉充夫	2
ウォーロードたちの和平			南部スーダン再訪記 内戦 終結を目前にした解放区 の現状	栗本英世	3～8
コンゴ紛争の新局面	武内進一	33～38	1930年代におけるコンゴ盆地 条約改訂問題と日本 外 務省記録に基づいて	北川勝彦	9～15
ナイジェリア総選挙と独立国 家選挙委員会	望月克哉	39～42	南アフリカの貧困・失業と社 会保障制度改革	牧野久美子	16～21
トーゴの大統領選挙 エヤ デマ「終身」大統領への道	岩田拓夫	43～47	牧畜民カブラ・ミゴの歴史的 記憶	曾我 亨	22～25
社会的和解をめぐる相克 南アフリカ・真実和解委員 会活動後の課題	阿部利洋	48～51	「行為先行的な規範」と「同一 経験の共有」との間の相互 反照的な関係 北ケニア 牧畜民アリアルにおける 結婚開始儀礼の事例から	内藤直樹	26～32
資料紹介		52～55	ナイジェリア・プラト州に おける非常事態発令とその 意味	望月克哉	33～37
アジ研アフリカ通信		56～60	東部コンゴという紛争の核	武内進一	38～42
編集後記		60	2004年マラウイ総選挙	高根 務	43～47
<hr/>			美容師になることを選んだ女 性たち ガーナ都市部で 新展開する女性の職業	織田雪世	48～53
煙No. 38号(2004年3月)			伝統医療におけるイスラーム 性について カメルーン・ バムン王国に生きる伝統医 の事例から	田中麻依子	54～59
巻頭言 アフリカの部族とア ジアのむら	速水佑次郎	2	土着知識と環境・開発問題 「アフリカの儀礼と環境会議」 より	宮内洋平	60～64
TICAD とTICADイニシアテ ィブ	平野克己	3～7	資料紹介		65～68
TICAD とNGOの参画	小峯茂嗣	8～11	アジ研アフリカ通信		69～72
「アフリカ連合」の基本的性 格と課題 「EUモデル説」 の批判的検討を通じて	高林敏之	12～17	編集後記		72
ジェノサイドと新しい国のか たち ルワンダの新憲法					

紹介資料一覧(No 31 ~ No 40)

編著者	書名	紹介者
煙No 31(2000年 9月)		
峯 陽一 アマルティア・セン(黒崎卓・山崎幸治訳) 栗本英世 鈴木裕之 塚田健一 「少年ケニアの友」東京支部編	現代アフリカと開発経済学 貧困と飢饉 未開の戦争, 現代の戦争 ストリートの歌 現代アフリカの若者文化 アフリカの音の世界 アフリカを知る 15人が語るその魅力と多様性	平野克己 吉田栄一 児玉由佳 武内進一 高根 務 牧野久美子
煙No 32(2001年 3月)		
佐々木重洋 吉田憲司 松田素二 岡安直比 ティス・ゴールドシュミット (丸武志訳) 青木澄夫	仮面パフォーマンスの人類学 アフリカ, 豹の森の仮面 文化と近代 文化の「発見」 驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで 抵抗する都市 ナイロビ 移民の世界から みなしごゴリラの学校 ダーウィンの箱庭 ヴィクトリア湖 日本人のアフリカ「発見」	高根 務 武内進一 佐藤 章 鈴木陽子 津田みわ 福西隆弘
煙No 33(2001年 9月)		
嶋田義仁・松田素二・和崎春日編 楠瀬佳子 峯 陽一・畑中幸子編著 総合開発研究機構(NIRA) 横田洋三(共編) 鈴木雅雄・真島一郎編 富永智津子 北川勝彦 服部正也	アフリカの都市的世界 増補改訂 南アフリカを読む 文学・女性・社会 憎悪から和解へ 地域紛争を考える アフリカの国内紛争と予防外交 文化解体の想像力 シュルレアリスムと人類学的思考の近代 ザンジバルの笛 東アフリカ・スワヒリ世界の歴史と文化 南部アフリカ社会経済史研究 援助する国される国 アフリカが成長するために	児玉由佳 牧野久美子 福西隆弘 高根 務 佐藤 章 鈴木陽子 平野克己 平野克己
煙No 34(2002年 3月)		
和田正平編 岡倉登志 坂本邦彦 井上一明	現代アフリカの民族関係 アフリカの歴史 侵略と抵抗の軌跡 東アフリカ農耕民社会の研究 社会人類学からのアプローチ ジンバブウェの政治力学	武内進一 福西隆弘 高根 務 平野克己
煙No 35(2002年 9月)		
栗田禎子 澤田昌人編 遠藤保子 佐藤俊編 小川 了 宮本正興・松田素二編 宮本正興 平野克己	近代スーダンにおける体制変動と民族形成 アフリカ狩猟採集社会の世界観 舞踏と社会 アフリカの舞踏を事例として 遊牧民の世界 奴隷商人ソニエ 18世紀フランスの奴隷交易とアフリカ社会 現代アフリカの社会変動 言葉と文化の動態観察 文化の解放と対話 アフリカ地域研究への言語文化論的アプローチ 図説アフリカ経済	平野克己 津田みわ 児玉由佳 高根 務 武内進一 高根 務 児玉由佳 福西隆弘
煙No 36(2003年 3月)		
NHK「アフリカ」プロジェクト P・カーティン(田村愛理・中堂	アフリカ21世紀 内戦・越境・隔離の果てに 異文化間交易の世界史	児玉由佳 高根 務

編著者	書名	紹介者
幸政・山影進訳) 加納弘勝・小倉充夫編 フランシス・クリスティー, ジョ セフ・ハンロン(モザンビーク 支援ネットワーク有志抄訳) 竹沢尚一郎 藤井真理	変貌する「第三世界」と国際社会(国際社会7) モザンビークと2000年の大洪水 表象の植民地帝国 近代フランスと人文諸科学 フランス・インド会社と黒人奴隷貿易	津田みわ 牧野久美子 平野克己 武内進一
煙No. 37(2003年9月) フランソワ=グザヴィエ・ヴェル シャヴ(大野英士・高橋武智訳) 富田正史 掛谷誠編 井野瀬久美恵 池谷和信 寺谷亮司 大林公子 坂田 泉	フランサフリック アフリカを食いものにするフランス スーダン もうひとつの「テロ支援国家」 アフリカ農耕民の世界 その在来性と変容 黒人王, 白人王に謁見す ある絵画のなかの大英帝国 国家のなかでの狩猟採集民 カラハリ・サンにおける 生業活動の歴史民族誌 都市の形成と階層分化 新開地北海道・アフリカの都 市システム アフリカの「小さな国」 コートジヴォワールで暮ら した12ヶ月 ムチョラジ!	武内進一 望月克哉 福西隆弘 津田みわ 高根 務 吉田栄一 福西隆弘 吉田栄一
煙No. 38(2004年3月) 室井義雄 小馬徹編 松園万亀雄編 アマドゥ・クルマ(真島一郎訳) シンディウェ・マゴナ(峯陽一・ コザ・アリーン訳) 川端正久 川端正久 坂井信三 篠田雅人 池谷和信編 山本敬晴 Christiaan Grootaert and Thierry van Basteleer eds. 武内進一編	ピアフラ戦争 叢林に消えた共和国 カネと人生 性の文脈 アラの神にもいわれはない ある西アフリカ少年兵の 物語 母から母へ アフリカ人の覚醒 タンガニーカ民族主義の形成 アフリカ・ルネサンス 21世紀の針路 イスラームと商業の歴史人類学 西アフリカの交易と知 識のネットワーク 砂漠と気候 地球環境問題の人類学 自然資源へのヒューマンインパ クト 世界で一番いのちの短い国 シエラレオネの国境なき医 師団 <i>The Role of Social Capital in Development: An Empirical Assessment</i> 国家・暴力・政治 アジア・アフリカの紛争をめぐる	望月克哉 津田みわ 児玉由佳 佐藤 章 牧野久美子 武内進一 武内進一 佐藤 章 児玉由佳 望月克哉 鈴木陽子 野上裕生 編集委員会
煙No. 39(2004年9月) 田中二郎他編 杉村和彦 辻村英之 A・M・ルギラ(嶋田義仁訳) 栗田和明 菅原和孝 松田素二 井野瀬久美恵	遊牧民(ノマッド) アフリカの原野に生きる アフリカ農民の経済 組織原理の地域比較 コーヒーと南北問題 「キリマンジャロ」のフードシステム アフリカの宗教 マラウィを知るための45章 ブッシュマンとして生きる 原野で考えることばと身体 呪医の未裔 東アフリカ・オデニョー族の二十世紀 植民地経験のゆくえ アリス・グリーンのレストランと世紀 転換期の大英帝国	児玉由佳 原島 梓 福西隆弘 望月克哉 高根 務 武内進一 津田みわ 佐藤 章